

## 別紙 2 (報告)

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 八木 浩司 殿

2020 年 2 月 7 日  
公益社団法人 日本地すべり学会  
関東支部長 櫻井 正明

支部長印



## 若手対策費（会員数対策 WG 計上分）支出事業の報告

関東支部は次の活動に表題の事業経費を用いた。

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者（実際）  | 【会員】若手 6 名 ベテラン 12 名 【非学会員】10 名<br>若手のうち、公募参加者 1 名、声がけ参加者 5 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 実施内容     | 火山の地形・地質を学ぶ基礎技術講習会-貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形-<br>（開催日：令和元年 10 月 17 日）<br>・斜面災害の場となりやすい火山に着目して「火山の地形・地質」に関する現地見学会を富士山において実施した。<br>・具体的には、①富士山 4 合目の火口列とスラッシュ雪崩跡及びその対策工、②富士山北麓に広がる貞観噴火により形成された青木ヶ原溶岩の地形や表面構造を見学した。                                                                                                                                                                                                                     |
| 所感       | 1. 得られたノウハウ<br>・赤色立体図を使用したインパクトのある充実した内容の現地案内書や、富士山でしか見られないスラッシュ雪崩跡及び溶岩流や噴出物の貴重な露頭や産状の見学など、参加者を飽きさせない内容が良かった。<br>・恩賜県有林や自然公園内への立ち入りについて関係機関への手続きが必要となるため、準備期間に余裕を持たせる必要がある。<br>・富士山見学では富士山駅が便利だが、バス待合せ場所に制限があるため注意が必要である。<br>2. 参加者の感想<br>・案内者が富士山研究の第一人者で、説明もわかりやすいため、とても快適かつ楽しく見学することができた。<br>3. 主催者の意見など<br>・台風災害に伴い、JR 中央線や中央道が通行止めでアクセスが悪い状況にも関わらず、19 名の参加者を得て開催することができた。<br>・非学会員 10 名、若手参加者 6 名と事業主旨に合う開催となり、有意義であった。 |
| HP・FB 掲載 | <input checked="" type="checkbox"/> 可      否      可の場合、できれば掲載可能な写真を送って下さい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

## 支出明細

| 科目              | 金額<br>(円) | 内容                              |
|-----------------|-----------|---------------------------------|
| 旅費交通費           | 103,740   | 貸切大型バス賃料 95,700 円、有料道路代 8,040 円 |
| 諸謝金             | 16,700    | 講師謝金                            |
| 印刷製本費           | 0         |                                 |
| 消耗品             | 924       | 封筒代 924 円                       |
| その他（旅行保険・通信運搬費） | 15,742    | 国内旅行保険代 8,800 円、宅急便代 3,936 円ほか  |
| 計               | 137,106   |                                 |

# （公社）日本地すべり学会関東支部 令和元年度基礎技術現地見学会 「－火山地形・地質入門－貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形」開催報告

## 1. 実施概要

関東支部では、地すべりを初めとした土砂災害に関心のある学生や、地形・地質に関する基礎知識を深めたい技術者の方々を対象として、現地見学会を開催しました。今回は、災害との関連性が高い火山地形・地質をテーマとして富士山北麓の現地見学を行いましたので、報告します。なお、本現地見学会は、若手対策費（会員数対策WG 計上分）支出事業として実施したものです。

- (1) 開催日：令和元年 10 月 17 日（木）
- (2) 開催場所：山梨県南都留郡富士川口湖町・鳴沢村
- (3) 主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部
- (4) 参加人数：19 名

## 2. 現地見学会の内容

本現地見学会では、富士山研究の第一人者である日本火山学会副会長の千葉達朗氏に現地案内・解説をお願いしました。

午前は富士スバルラインを利用して富士山 4 合目まで移動し、雨天の中、御庭の登山道を上りつつ、火口列とスラッシュ雪崩跡及びその対策施設を見学しました。火口列は、直線状に連なる凹地で認識できます。火口周辺には、やわらかい溶岩の“しぶき”であるスパターが堆積しています。スパターの形状から降下時の上下判定方法について、わかりやすく解説頂きました。

スラッシュ雪崩跡は、雪崩の気分で斜面を一気に下りながら、幹折れや倒木の痕跡、河道と自然堤防のような地形を確認し、導流堤や洞門も見学しました。

昼食後は、精進湖まで移動し、半島内の遊歩道を歩きながら、“せの湖”に流れ込んだ溶岩流の枕状部や湖底に堆積した珪藻土が溶岩膨張で隆起した地形や堆積物を観察しました。

続いて、天然記念物に指定されているジラゴンノの溶岩樹形を観察しました。最新の知見では、この露頭は溶岩流が樹林地帯に流れ込み、溶岩樹形を形成した後、溶岩膨張によって、上下方向に引き伸ばされたものと考えられています。世界的にも珍しい露頭を前にして、参加者からは時間を忘れて積極的な質問がなされました。

台風 19 号の影響で J R 中央線や中央道が不通となり、現地見学会の開催が危ぶまれましたが、19 名の方に参加頂きました。参加者の半数が非会員で、また、20 歳代・30 歳代の参加者が 3 分の 1 ということで、若手対策費支出事業の主旨に沿った開催となり、学会の活動を啓蒙する上でも非常に有意義な機会となりました。

## 3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した現地検討会や学

生・若手技術者の育成活動を実施していく予定です。

最後に、本現地見学会の開催にあたり、資料をご提供頂いた山梨県道路公社の関係各位には大変お世話になりました。ここに記して厚く御礼申し上げます。



写真-1 雲の中でのスラッシュ雪崩跡の見学



写真-2 精進湖半島部にある枕状溶岩の転石



写真-3 溶岩樹形と溶岩膨張構造の露頭



写真-4 集合写真（鳴沢溶岩樹形の前で）

（関東支部幹事会 滝口 潤・林 一成）

令和元年度 基礎技術現地見学会  
「火山地形・地質入門 貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形」  
参加者アンケート結果

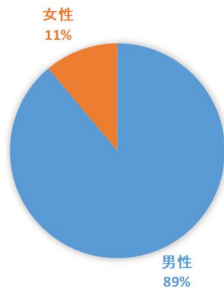
申込者：23名（学会員：11名（うち幹事：6名）、非学会員：12名）

当日参加者：19名（学会員：8名（うち幹事：5名）、非学会員：11名）

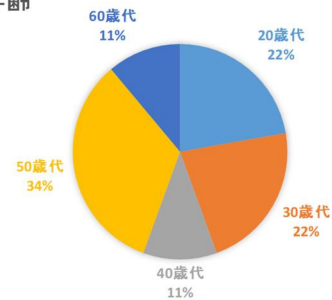
回答数：9名（幹事は除く）

<アンケート回答者属性>

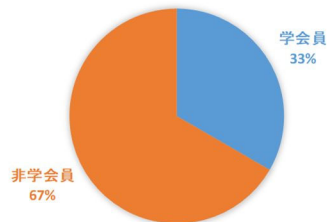
属性：性別



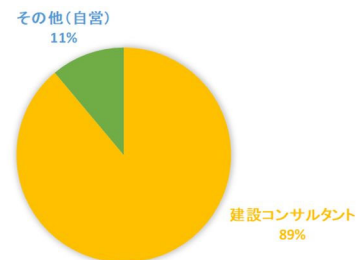
属性：年齢



属性：学会員・非学会員

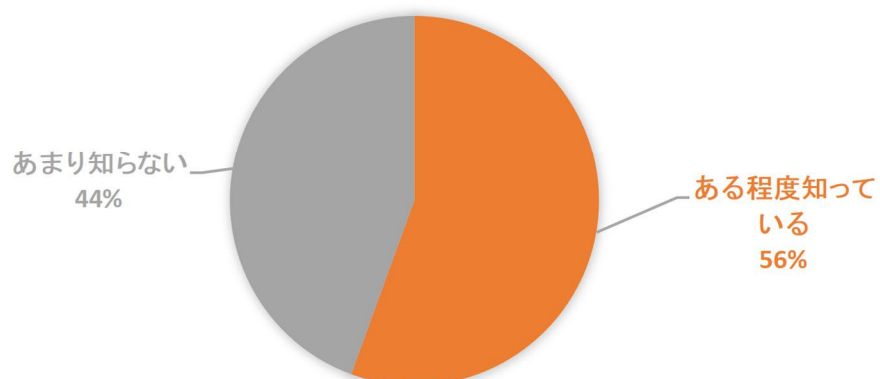


属性：所属

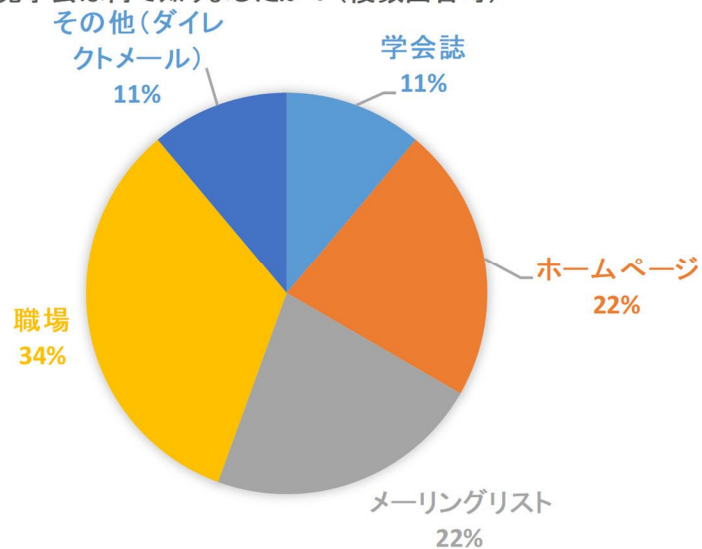


<質問・回答>

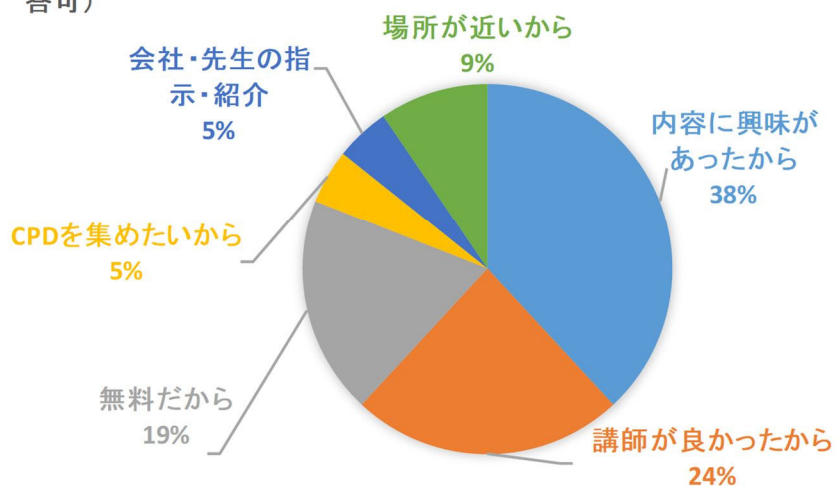
Q1 今回のテーマとなった「火山の地形・地質」について、どの程度知識をお持ちでしたか？



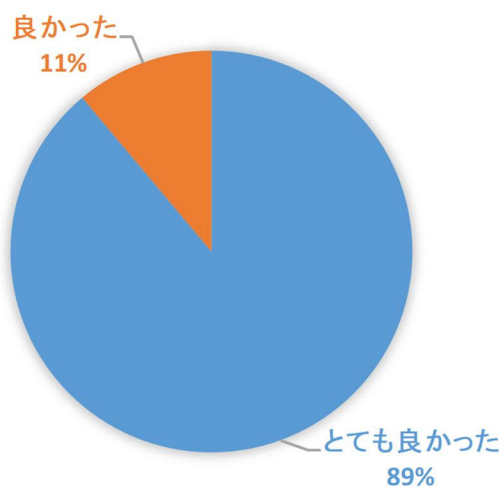
Q2 今回の現地見学会は何で知りましたか？（複数回答可）



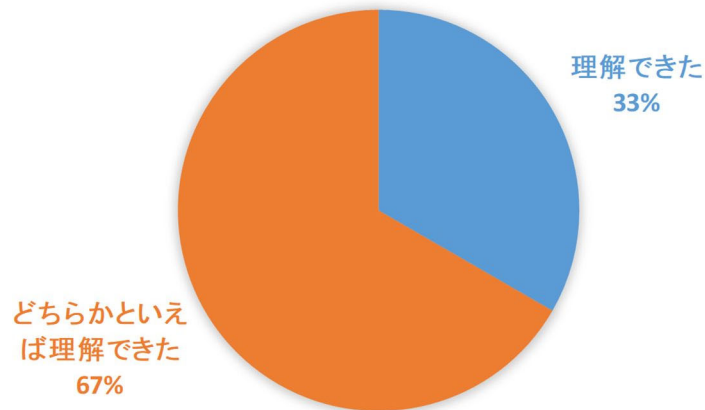
Q3 現地見学会に参加しようと思った動機はなんですか？（複数回答可）



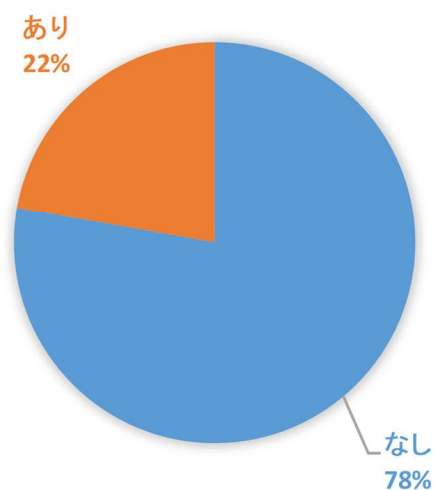
Q4 現地見学会に参加して良かったと思いますか？



Q5 現地見学会の内容は理解できましたか？



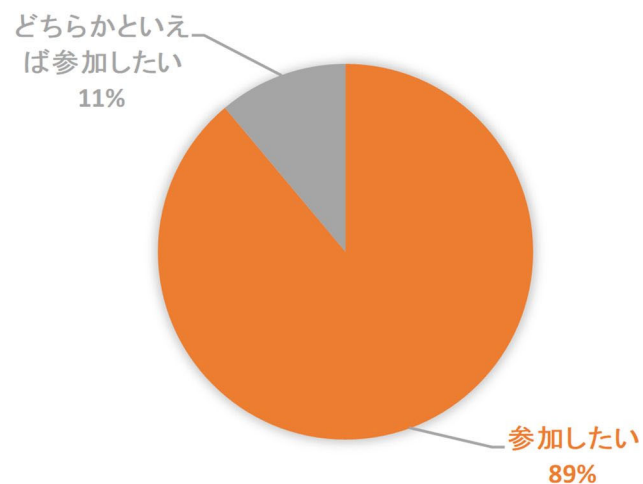
Q6 改善した方が良いと思われる事がありますか？



・今回のように現地までの集合に  
際し、道路の通行止めや公共交通  
機関の遅れ等が生じた際の緊急  
時の連絡体制の整備

・単純に地形地質のみの内容だけ  
ではなく、地形地質が斜面防災と  
どのように関係するのか、また、  
対策の考え方はどうか、など、“斜  
面防災・対策”に関連させた内容  
を充実させてほしい。

Q7 今後もこのような現地見学会・講習会に参加したいと思いますか？



**Q8 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、ご自由にお書きください。**

- ・地震や台風などの災害現場の見学会
- ・地すべり機構と対策工に関する見学会や講習会
- ・地すべり、地形、地質、対策工等に関するマニアックなものを題材とした見学会・講習会

**Q9 その他、ご意見・ご感想等がありましたら、ご自由にお書きください。**

- ・富士山周辺の細かな地形を見ることができて良かった。資料の内容が濃く、見やすかった。個人的には最後の溶岩樹形の露頭をもっとじっくり見たかった。
- ・「無料」は素晴らしいことではあるが、これだけ充実した内容でもあるし、多少の実費は徴収しても良いのではと考える。
- ・今回は台風災害の後で無理があったと思う。できれば延期して実施してほしかった。
- ・個人的に富士登山をした際に疑問に思っていたことのいくつかが解決した。
- ・「若手を主に対象（ただし年齢は問わず誰でも参加 OK）」といった内容を見かけますが、結果的には、若手が少なく、幅広い年齢層で実行されます。“若手”としてしまうと、高年齢の人たちが参加を遠慮することが、社内でも起きています。したがって、特に「主に若手」を強調しなくても良いと思います。

以 上

別紙 1（申請）

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 八木 浩司 殿

令和元年 7 月 19 日  
公益社団法人 日本地すべり学会  
関東支部長 櫻井 正明

|      |
|------|
| 支部長印 |
|      |

若手対策費（会員数対策 WG 計上分）支出事業の申請  
支部は次の活動に表題の経費を用いる。

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |  |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--|
| 名称             | 火山の地形・地質を学ぶ基礎技術講習会<br>―貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形―                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |  |
| 目的             | 斜面災害、地形・地質をテーマとした基礎的な講習会（基礎技術講習会と称する）を通して、若手会員の技術力向上や学会活動への参加意欲を向上させる機会とする。また、非会員にも広く参加を呼びかけ、学会の認知度を上げて学会の会員数増加につなげる。                                                                                                                                                                                                                                   |        |  |
| 日時             | 令和元年 10 月中旬頃（予定）、日帰り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |        |  |
| 場所             | 山梨県富士河口湖町・鳴沢村                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |        |  |
| 概要             | ・本年度の講習会のテーマは、斜面災害の場となりやすい火山に着目して「火山の地形・地質」とする（昨年度：地すべり地形）。<br>・講習会は、テーマに沿った具体的な対象地を設定して、現地見学会と座学で構成する。<br>・対象地は、関東支部管内の代表的な火山である富士山において、最大の噴火とされる貞観噴火で形成された富士山北麓の青木ヶ原溶岩原（山梨県内）とする。<br>・講習会では、貞観噴火により形成された青木ヶ原溶岩について、特徴的な地形や表面構造、風穴の成因、侵食谷の発達状況、堰止湖の形成等を題材とし、火山の地形・地質や火山災害の基礎知識を学ぶものとする。<br>・講習会の対象者は、火山の地形・地質、火山災害等に興味のある人とし、参加者に制約を設けない。なお、参加費は無料とする。 |        |  |
| 参加者（見込）        | 講師（1 名／学会員）<br>参加者（25 名程度、若手技術者・学生、会員・非会員）                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |        |  |
| 参加者公募          | <div>あり</div> なし ※参加費無料（昼食は弁当持参）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |  |
| 支出見込み（表題経費分のみ） | 旅費交通費（バス代）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 80 千円  |  |
|                | 講師旅費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 10 千円  |  |
|                | 講師謝金                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 12 千円  |  |
|                | 資料作成費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 10 千円  |  |
|                | 旅行傷害保険                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 8 千円   |  |
|                | 通信運搬費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 10 千円  |  |
|                | 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 170 千円 |  |
| HP・FB 掲載       | <div>可</div> 否                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |  |
| 連絡担当者          | 滝口潤（takiguchi-j@meicon.co.jp）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |        |  |